

## 【運用】

### ◎準備として

- ①電波を発射する前に送信機の出力が10W以下になるようにして下さい。
- ②電力計のワット切替スイッチ④を20Wレンジにして下さい。
- ③キャリブレーションボリューム③を最小にしぼって下さい。  
又、ツマミは押込んだ位置(PUSHU-SWR)にして下さい。
- ④チューナーツマミは中間点(12時の位置)にしておいて下さい。

### ◎調整の方法

- ①はじめは送信電力10W以下の出力で調整します。  
送信機を送信にしますと電力計メーターが振れます。次にキャリブレーションボリューム(以下CAL、VRと記す)を手前に引出します。(PULL-CAL)、このままCAL、VRを少しづつ上げてSWRメーターの指針をCALの点で止め、その位置でツマミを押込みますと(PUSHU-SWR)メーターが下がりその時のSWRを指示します。
- ②次にチューナーツマミを調整します。  
SWRメーターの指示を見ながらチューナーツマミを(430MHzは⑤の2ヶ、144MHzは⑥の2ヶ)を調整してSWRメーターの指示が最少(SWR≒1)になるように合せます。
- ③SWRが1かその近くなったら送信電力を上げて送信し、もう一度キャリブレーションセットをします。(CAL、VRツマミを引出して、SWRメーターをCAL点で止め、CAL、VRを押込むこと)  
これで電力計は上げた電力を指示しSWRメーターは増加した電力のSWRを指示します。SWRメーターを見ながら、さらにSWRが良くなるように、チューナーツマミを調整してOKです。アンテナが正常に接続されていればかならずSWR≒1に調整出来ませんがフィーダーやコネクタプラグの接続不良、断線の場合は調整出来ない場合があります。注意して下さい。  
又アンテナ自身のSWRが悪すぎる時もSWRが下がりにくい事があります。

### 【使用上の注意事項】

本機を使用するときは次の事項に注意して下さい。

- !! 定格最大入力(200W)を越える送信電力は絶対に加えない下さい。
- !! チューナーで調整する時には、はじめは小さい出力で調整をとりながら徐々に出力を上げてゆくようにして下さい。  
充分に調整できていないままに大きな出力を加えると、SWRメーターやチューナー一部を焼損する危険性があります。
- !! 高感度なメーターを使用していますので、強い衝撃等を与えないようにして下さい。

■本機はアマチュア無線技士等の無線従事者が、その資格により責任をもって使用する機器です。一般民生機器ではありませんので運用の安全等には充分な注意の上御使用下さい。

■また改良の為、予告なく仕様変更することがあります。

# 取扱説明書

## アンテナチューナー

## NT-282

### 144/430MHz デュアルバンド

### 保証書

No

型名 Model. NT-282

販売年月日 年 月 日

お名前 様

ご住所

〒 ☎

販売店名印

※販売年月日・販売店印なき物は無効!!

KURANISHI INSTRUMENTS CO., LTD.

1-10-24 NAKAMEGURO MEGURO-KU, TOKYO 153 TOKYO 03(3793)3311



株式会社 クラニシ  
本社 東京都目黒区中目黒 1-10-24 共栄ビル 電話03(3793)3311 153